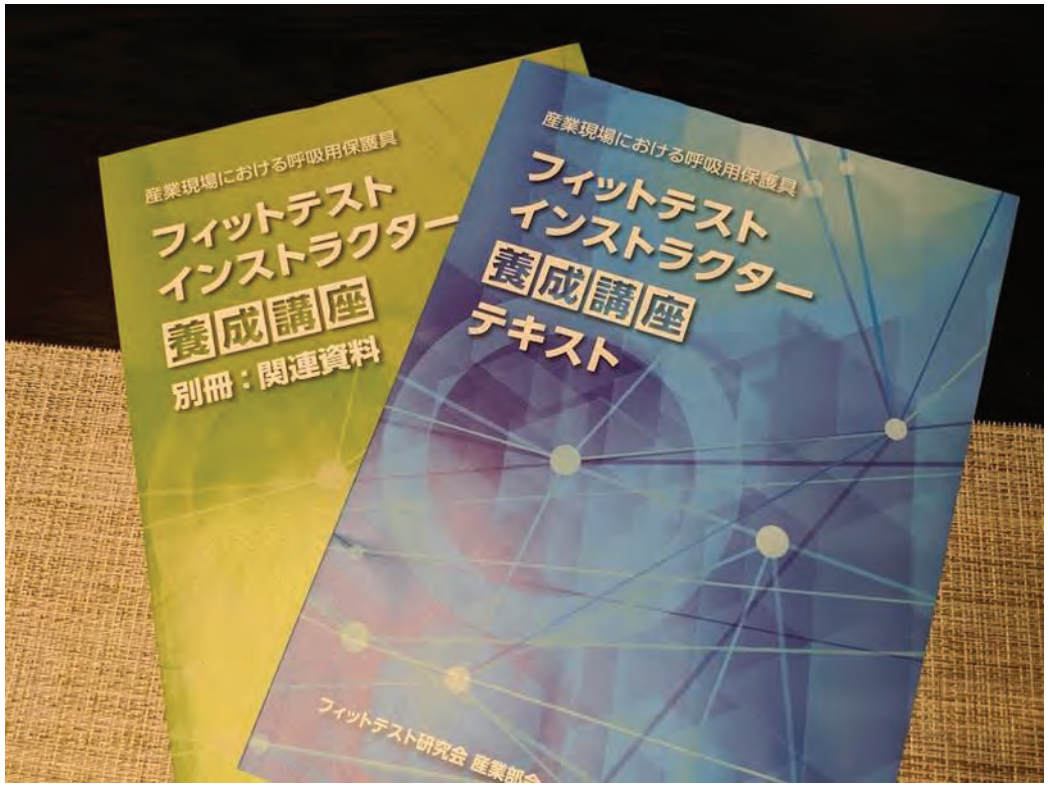
呼吸用保護具のフィット（密着性）の重要性を学ぶ

「第2回　産業用フィットテストインストラクター養成講座」

2019年8月8日（木）10時-17時



今回から活用したテキストと別冊です。
吉川代表はじめ先生方、企業のご協力頂いたき完成いたしました。

時　間	実施事項		備　考
	内容	時　間	
10：00～10：15	開会の挨拶・オリエンテーション 自己紹介	15	榮留
10：15～11：00	講義：呼吸用保護具の目的 労働衛生と呼吸保護	45	吉川
11：00～11：30	定量フィットテスト体験	30	川島
11：30～12：30	昼食	60	
12：30～13：30	講義：フィットテストの方法 マスクの装着手法（rデモ）フィットチェック　3社 定量機器の説明（デモ）4社 定性フィットテスト（rデモ）	60	村田 各メーカー
13：30～13：45	休憩	15	
13：45～16：00	定性フィットテスト 演習：定量・定性フィットテスト フィードバック、後片付け	135 (25×5) 交代休憩 10分	吉川・村田・ 川島・中村
16：00～16：10	休憩	10	
16：10～16：20	試験	10	川島
16：20～16：45	PAPRデモ	25	中村 各メーカー
16：45～17：00	試験のフィードバック・まとめ・質疑応答 アンケート・写真撮影・参加者交流	15	吉川・川島

呼吸用保護具のフィット（密着性）の重要性を学ぶ

第２回産業用フィットテスト インストラクター養成講座

日時：2019年 8月8日 (木)10時～17時

「フィットテスト、正しく実施できますか？」

産業の現場において、呼吸用保護具の適切な選択と使用は重要です。そこで、呼吸用保護具を使用する際のフィットテストの意義や実施方法を理解し、指導できるようになることを目的とした、セミナーを開催いたします。

フィットテスト研究会産業部会は、産業現場におけるばく露防止のために新しいフィットテストプログラムの開発など、呼吸用保護具のフィットテストの普及や啓発を進めています。呼吸用保護具の現場使用にかかわる方、ご興味のある方は、ぜひ本セミナーへご参加ください。

会　場：**早稲田大学 西早稲田キャンパス**
（〒169-8555 東京都新宿区大久保３－４－１）

対　象：産業保健スタッフ、安全衛生の実務経験3年以上の現場
責任者・担当者・ユーザー、災害緊急支援者等　30名

受講費：8000円（テキスト代・お弁当代を含む）

＊既に感染のフィットテストインストラクターの方は、お弁当代(実費1000円程度)の支払のみお願いします。

＊会場の西早稲田キャンパスは、副都心線「西早稲田駅」に直結しています。

＊お申込は、フィットテスト研究会産業部会ホームページから、6/１～7/15の間にお願いします。
http://www.ft-industry.umin.jp/　検索→「フィットテスト研究会産業部会」
フィットテスト研究会産業部会事務局　eiei235235@gmail.com

KANOMAX　興研株式会社　シゲマツ
SIBATA　3M Science. Applied to Life.　トランステック

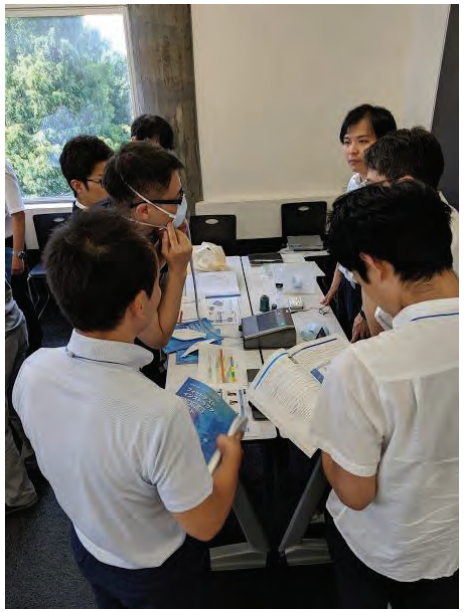
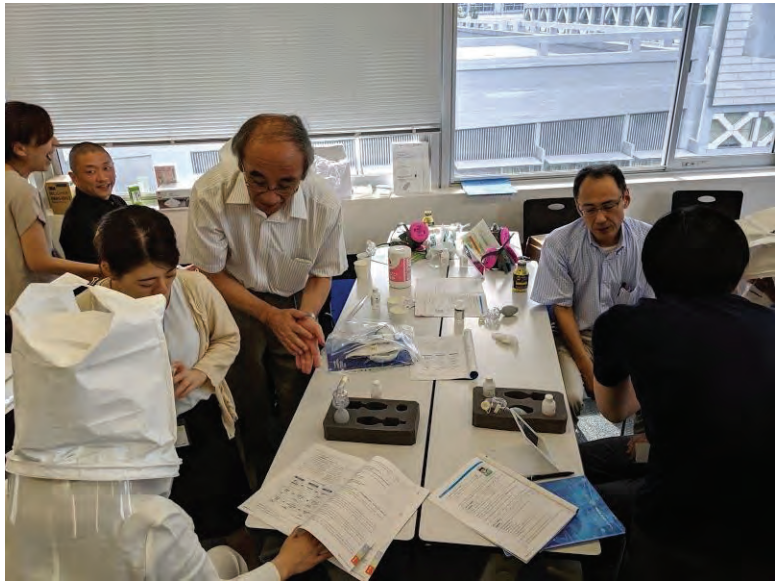
【講師】産業部会　代表　吉川　徹

【講師】産業部会　副代表　村田　克

【講師】産業部会　副代表　川島　正敏

【講師】産業部会　中村　憲司

【マスクとフィットテスターについての説明】
マスクメーカー3社、測定器メーカー4社、フィットテストインストラクターでもあるメーカーの皆さんの説明はとてもわかりやすいと好評です。

【定性・定量フィットテストの演習】
グループに分かれて、定性と定量のフィットテストの演習と取替え式防じんマスクの装着や点検方法などを学びました。

【演習の様子】
グループ演習では、質問も多くモチベーションの高さを感じました。

フィットテストインストラクター（FTI）26名が誕生しました。
左の写真は、吉川先生から荻野先生へ修了書授与です。

吉川先生、村田先生、川島先生、中村先生
企業のインストラクターの皆さまのご支援ご協力に感謝いたします。

最後に、今回のフィットテストインストラクター養成講座にご参加の皆さまのアンケートの結果を掲載します。

アンケート項目	n=23
Ⅰ.講習会を知った理由	
1　案内チラシ	1
2　HP	1
3　紹介	12
4　ML	2
5　その他	7
Ⅱ.講習会への参加理由	
1　テーマへの関心	16
2　上司の指示	6
3　その他	3
Ⅲ.　感想	
1　良かった点	右記
2　改善すべき点	右記
Ⅳ.総合評価	
1　とても満足	16
2　満足	7
3　どちらでもない	0
4　やや不満足	0
5　とても不満損	0
Ⅴ.要望	右記

Ⅲ-１　良かった点（一部抜粋）
・実際にいろいろなマスクが試せたところ。講師から実践的なHow　to を聞けたところ
・感染部会には登場しないマスクや機械、また、産業分野ならではの気を付けるべきことや事例を学ぶことができました
・説明がわかりやすく「必要性」「仕組み」がよくわかりました
・世界のトレンドの一環を知ることができました:
・様々なマスクを実際に装着し、チェックできるところ。各メーカーの機器を使用できること
・装着デモ、機器の使用法などすぐに使える内容
・電動ファン付き呼吸用保護具を体験できたこと
・テキストには載っていない話（具体例）を聞くことができた
・色んなメーカーを体験できた。マスクは一社だけだと思っていた。「自分に合ったマスク」が重要であることを初めて知りました。
・各社のマスク、フィットテストを実際に体験し、最新の知識にも触れた
・フィットテストについて基本的なことが学べたフィットテストを色々な方式、実際におこなうことができたこと

Ⅲ-２　改善すべき点（一部抜粋）
・教える立場の実習を増やす必要を感じた（定性テストは、そのように工夫頂いていた）
・定量フィットテストでは、違うメーカーの装置を試せたのがよかったが、フィットテストをするだけでなく、設定などの操作性の違いも見たかった
・講習内容が当日来るまでわからなかった点
・スライドのPDF版などを提供して頂きたい（社内でのトレーニングに使用したい）
・デモできる台数を増やしてほしい

Ⅴ　要望（一部抜粋）
・社内の他のメンバーも参加してほしいので継続をお願いしたい
・インストラクターも定期的にトレーニングやさらなるスキルupが測ることが出来る機会があるとよいでしょう。定量フィットテストはまだまだ一般的には拡がらないように思います
・産業現場でのフィットテストインストラクターセミナーを年２～３回開催して頂きたい
・日本産業環境測定協会や日環協とも組んで講座をして頂けると、もっと多くの参加者が増えてフィットテストの重要性を普及できると思います
・フィットテストプロトコルについて、研究者や企業の方のやり方をお聞きしたいです